



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2014~2015年度クラブテーマ
会長 石井 謙次

●本日の例会 / 2015年 05月 29日 第1350回
卓話：「いまどきの美術館事情と学芸員の仕事」
公益財団法人 出光佐三記念美術館次長
笠嶋 忠幸 氏

●前回報告 / 2015年 05月 22日 第1349回例会
卓話：「電気・140年の歩みと展望
～暮らし、産業とともに～」
都市と電化研究会 副代表（関西電力）西村 陽 氏



紹介者：畠中会員

会長報告：

①5/19にグローバルロータリークラブのチャリティーコンサートへ家内と行って参りました。会員とそのご家族が演奏されており、盛大なコンサートでした。

②国際ロータリーより、新会員を推薦した岩上副会長（浅沼会員を推薦）、橋本次年度会長（熊本会員を推薦）へ認証品（バッヂ）を贈呈。



社会奉仕員会：(橋本サブリーダー)

5/24は風の子会の「障害者は外に出よう」が開催されます。多数の会員とご家族のご参加ありがとうございます。皆様へ班編成の書面が届いていると思いますので、ご確認いただければと思います。各班のリーダーより集合場所等の連絡がいきますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。明後日の天気は大丈夫そうですので安心しておりますが、万一雨天の場合は、31日へ変更となりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1321 / 2015.05.29

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「ロータリーライフは例会から」
Rotary Begins from the weekly meeting

ゴルフ同好会：(長谷川会員)

6/3は第一回ゴルフ同好会のコンペを開催いたします。景品等も用意しておりますので、楽しみにしていてください。よろしくお願い申し上げます。

幹事報告：

受付にネパール連邦民主共和国の巨大地震・震災被害義捐金の寄付ボックスを用意いたしましたので御協力よろしくお願い申し上げます。当クラブで集めた寄付金は、5月末日をもって地区へ振り込みいたします。地区で集めた寄付金については、直接地区から現地のロータリークラブへ送金するか、国際ロータリーで取りまとめてから現地へ届ける等の方法がありますが、ネパールについては今のところ検討中です。結果について、後日地区より連絡がある予定です。



05月 22日(金) / 11件23,000円
累計1,290,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

石井謙次/西村さん本日の卓話宜しくお願ひ致します。息子に男の子が生まれました。小林博茂/社会に人に迷惑をかけないという基本スタンス。ドローンが騒がれていますが、そもそも家庭教育の問題ですね！尾関武男/熊本さんニコニコご苦労さまです。田村昭二/梅雨入り間近の好天です。熊本さんニコニコご苦労様です。土屋東一/熊本さんニコニコご苦労さまです。佐藤仁/西村様電気の話は楽しみです。熊本さんニコニコお疲れさまです。石井達/熊本さんいつもSAA活動に御協力いただきありがとうございます。先日、大腸内視鏡検査を受けました。体重も一時的に2キロ減りスッキリしました。畠中一郎/みなさんお久し振りです。西村さん本日はよろしくお願ひします。藤井万博/あさっての風の子会、晴れるといいですね。熊本さんニコニコお疲れさまです。長谷川毅/今日に感謝です！西村様、本日の卓話「電気の歴史」楽しみにしています。熊本誠司/昨日今年初めてのゴルフをしました。何と今日は首の廻りが痛いです。

出席報告：会員 43名 / 出席 27名 欠席 16名
ゲスト：西村陽(卓話)、栄陽子(敬称略)

●次回予告 / 2015年 6月 5日(金)第1351例会

卓話：イニシエーションスピーチ

当クラブ 魏芝 会員

韓国姉妹公山城 RC にメークアップしました。

クラブの皆様、

5月22日夜、韓国姉妹クラブの公山城 RC にメークアップしました。定例会では公山城 RC の10周年記念と2015-2016年の企画について話がありました。

この後、皆で焼肉を作つて、とても楽しかったです。
とても綺麗な町で、土曜日は観光もしました。

それでは金曜日によろしくお願ひします。(コンシニ)



五大奉仕部門

「ロータリークラブ定款 第5条五大奉仕部門」より
ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの活動の哲学的および実際的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従つて自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

クラブ奉仕 (Club Service)

ロータリーの第一奉仕部門。クラブの機能を充実させるために、ロータリアンが取るべき必要な行動にかかるものである(『手続要覧 2010年』P281)。

出席、職業分類、クラブ会報、親睦活動、雑誌、会員選考、会員増強、プログラム、広報、ロータリー情報などがあります。例会に始まるロータリーの会合への出

席奨励、会員の職業分類の整備、クラブ会報刊行、親睦事業や例会のプログラム設定、ロータリーの雑誌についての案内、会員増強、ロータリーを一般に広報すること、ロータリー情報の指導者として、など、クラブの運営にかかるものを指します。

職業奉仕 (Vocational Service)

ロータリーの第二奉仕部門。ロータリアンが職業の尊さと価値をクラブのほかの会員に示す機会であるとともに、キャリア計画、職業研修、職場での高い道徳的水準の推進といったプロジェクトを実施するというクラブの責任でもある(『手続要覧 2010年』P292)。

職業奉仕は、クラブと会員両方の責務です。「職業奉仕に関する声明 (Statement on Vocational Service)」、「ロータリアンの職業宣言 (Declaration of Rotarians in Businesses and Professions)」など、詳細は『手続要覧 2010年』P109に譲りますが、「四つのテスト」(The Four-Way Test)に、職業奉仕の精神が生きています。具体的には、各会員の職業を生かし、青少年に対し職業指導 (Vocational Guidance) として就職相談を行つたりしています。特に日本では、職業倫理についての関心が高く、「職業奉仕こそがロータリーのロータリーたるゆえんである」と言われています。

社会奉仕 (Community Service)

ロータリーの第三奉仕部門。地域社会の人々の生活の質を高めるために、ロータリアンが行うさまざまな活動。これには、ロータリーをより良い生活への希望の源とみなす青少年、高齢者、体の不自由な人々への支援などがしばしば含まれる。(『手続要覧 2010年』P281)

社会奉仕は、地元社会のニーズに応えるものですから、それぞれ地域のニーズによって、当然活動が違つてきます。青少年のためにサッカー教室や野球教室を開催したり、植樹、図書館に本を寄贈する、老人ホームや児童養護施設の訪問、その他さまざまな活動があります。なお、「社会奉仕に関する 1923 年の声明 (1923 Statement on Community Service)」(『手続要覧 2010 年』P114~116・ロータリージャパン) は、この奉仕に対する理解には不可欠な、大切なものです。

国際奉仕 (International Service)

ロータリーの第四奉仕部門。ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために実施する数多くのプログラムや活動を包含するものである。多くの国際奉仕プロジェクトは、発展途上国の人道的ニーズを満たすことを目的とし、また、異なる国や文化の人々に対する認識を培うことを助長する。(『手続要覧 2010年』P285)

さらに、「ロータリアンの間に、また、一般の人々の間に理解と善意を育むことが、ロータリーの国際奉仕が果たすべき仕事である(ロータリー章典 8.050.1.)」(『手続要覧 2010年』P119)とあります。この奉仕が目指していることは、ロータリーの目的第4項「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」にあります。

青少年奉仕 (Youth Service)

ロータリーの第五奉仕部門。指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。2013年規程審議会で「新世代奉仕」から「青少年奉仕」に言葉が変更されました。(ロータリージャパンより)